

1. 共通テーマにおける取り組み

今年度、美原区としてできることとして、「児童」という大きなテーマで相談支援事業所を中心にアンケート調査を実施。それをもとに12月の定例会議にて意見交換を行った。

○児童についてそれぞれの業務での関わりや気になることなどを意見交換

(障害児相談事業所)・障害児相談を始めた頃は、あいの一とを見ながら手探り。本人の気持ちをくみ取るのが難しい。

・家族支援が中心。者よりも児の方が(支援の)時間がかかる。本人・親・事業所の思いのズレ。

・障害児相談を始める準備中。社会資源や具体的な手続きを知りたい。

(その他関係機関)・障害がありながら育児をする母親にとって最近の児童虐待の流れはプレッシャーになるのでは？

・福祉サービスの利用については母親も手探り。専門機関に背中を押してもらいたい様子もあり。

・美原区内の子ども食堂は2か所。課題のある家庭への訪問も行っている。広域的な取り組みがどれくらいできるかが課題。

・子育てでしんどくなって入院する方もいる。ただ入院中に世帯の関わりをするのは難しい。

児童の治療について別の病院へつないでいる。

⇒今回の意見交換で、障害児相談の現状や美原区内の社会資源について共有できた。美原区内の相談支援事業所は5事業所中、介護分野からの参入事業所が3事業所。アンケートでも「支援対象外」「児童には関心はあるが業務として向き合う余裕がない」という返答が中心で、児童に焦点を当てて意見交換をすることが現状難しいことも共有された。

2. 美原区独自の取り組み

【課題】

美原区内の計画相談事業所の利用が16.8%。8割以上が他区や他市の事業所を利用している。

⇒美原区内の障害福祉サービス利用者に美原区内の事業所が関わっていない。現状のままだと、相談支援事業所から美原区自立支援協議会に地域課題を上げることは難しい。

【今年度の活動について】

「美原で暮らす、美原で支える、美原でつながる」を年間テーマとし、美原区の障害当事者を美原区で支え、社会資源を活用し、地域とつながる取り組みを検討していくために、「相談支援の質向上」を目的とした事例検討に取り組む。またその事例を美原区内の相談支援事業所で担ってもらい、協議会内で経過も共有していく。

【主な取り組み】

○事例検討・事例相談

基幹相談から障害者ケアマネジメントを必要とするセルフプランの利用者の事例検討を行い、支援の方向性や今後課題などを共有した上で、計画相談を打診する事例相談を行う。

○構成委員の見直し

美原区内相談支援事業所5事業所すべて構成委員として参加。

○美原区自立支援協議会にて個人情報保護指針作成

事例検討に実事例を提供するため、美原区協議会独自で個人情報保護指針を作成。参加構成委員は個人情報保護指針をもとに誓約書に署名。

【実績】

○今年度5事例、事例提供。2事例計画相談との契約済。3事例、計画相談との顔合わせ調整中

【今後に向けて】

地域課題を検討する仕組みづくりの第一歩として、「相談支援の質向上」を目的に試行錯誤しながら「事例検討・事例相談」を進めてきた。今後もこの形を進めていくのか、継続しつつ新たな取り組みを検討していくのか。来年度はより相談支援事業所の声を反映できるよう取り組んでいきたい。